

学修状況へのコロナ禍の影響

多摩大学

1、経営情報学部

(1) 学部生全体の傾向

- ①「登校日数」が減った。
- ②「授業出席」時間が減った。
- ③「アルバイト」時間がやや減った。
- ④「予復習」時間は、やや増えた。
- ⑤「自主的勉強」時間は、やや増えた。
- ⑥「読書」時間はやや増えた。
- ⑦「社会活動」時間は微減した。
- ⑧「サークル部活」はやや短くなった。
- ⑨「友だちづきあい」時間は大幅に減少した。
- ⑩「ネット SNS」時間はやや減った。
- ⑪「テレビ DVD」時間はやや増えた。

(2) 2020 年度入学生(当時 1 年生の平均値)

- ①「登校日数」は 5 日前後と微減であるが、「授業出席時間」は大きく減少した。
2019 年度入学生比では 2 時間減少し、コロナ禍の影響が考えられる。
- ②「予復習時間」は 30～60 分増加した。
- ③「読書時間」は 15 分前後増加した。
- ④「サークル部活」「友だちづきあい」時間は減少し、特に「友だちづきあい」時間は 3 時間前後減少した。
- ⑤「ネット SNS 時間」は長いまま。
- ⑥「アルバイト時間」は大きく減少した。2019 年度入学生比約 1 時間半減少した。

2、グローバルスタディーズ学部

(1) 学部生全体の傾向

- ①「登校日数」が減った。
- ②「授業出席」時間が減った。
- ③「アルバイト」時間が減った。
- ④「予復習」時間はやや減った。
- ⑤「自主的勉強」時間に変化はなかった。

- ⑥「読書」時間はやや短くなった。
- ⑦「スマホ」時間はやや増えた。
- ⑧「サークル部活」「社会活動」時間は短くなった
- ⑨「テレビ DVD」時間はやや減った。
- ⑩「ネット SNS」時間はやや増えた。

(2)「予復習時間」について

①コロナ禍前から

- ・予復習時間はベンチマークより長かった。
- ・「授業出席時間」と「予復習時間」とが正の相関にあった。
- ・(推測)予復習は、キャンパス内でしていた。家では、予復習をあまりしていなかった。

②コロナ禍

- ・(伝聞)教職員による「三密を避けるため、早く帰りましょう」という指導
- ・(推測)キャンパス内滞在時間減少による予復習時間の減少

以上